

令和2年(2020年)1月17日
No.6
豊中市立北条小学校



英語教育について

今年の最も大きな関心事と言えば、やはり「東京オリンピック・パラリンピック」ではないでしょうか？世界のさ

さまざまな国のトップアスリートが集う夢の祭典が日本で行われるということで、観戦を楽しみにされている方も多いと思います。



近年、急速なグローバル化に伴い、外国語によるコミュニケーション能力がさまざまな場面で必要とされています。2002年度からは、小学校でも「総合的な学習の時間」の中で国際理解教育の一環として外国語活動を実施することが可能となり、2011年度からは、5、6年生で外国語活動が週1時間必修となっています。

そして、2020年度からは、新学習指導要領が本格実施され、「東京オリンピック・パラリンピック」の開催と合わせるようにして、小学校の外国語(英語)教育も以下のように変わります。

<p>3、4年 外国語活動 週1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動型 コミュニケーション力の素地の育成 聞く、話す【やりとり、発表】活動に取り組む。(体験的な活動が中心) 音声や基本的な表現への慣れ親しみ アルファベット文字を聞いて分かる 聞くこと、話すことにより自分の考えや気持ちなどを伝え合う 児童にどのような力がついたか、文章による評価
<p>5、6年 外国語科 週2時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科型(正式教科となる) コミュニケーション力の基礎の育成 聞く、話す【やりとり、発表】、読む、書く活動に取り組む。 音声、文字、単語、語順などについて日本語と外国語との違いへの気づき 読むこと、書くことへの慣れ親しみ 聞くこと、話すこと、読むこと、書くことにより自分の考えや気持ちなどを伝え合う 他の教科同様に、観点に基づく3段階評価

本校では、今年度、第十六中校区で豊中市教育委員会の英語教育コアスクール事業の指定を受けています。中学校教員が担任と一緒に小学校で外国語活動の指導を行うことで小中学校間の円滑な接続と指導の一貫性や系統性を深め、学習意欲や学力のさらなる向上を図るというものです。第十六中から、原則水曜日と金曜日に英語科教員の平尾先生が来られて、5年生と6年生の英語の授業を受け持っています。

また、外国人英語指導助手として、9月～2月、本校に派遣されているブレイク先生が担任や十六中の先生と一緒に、3～6年の外国語活動の指導にあたっています。さらに、1、2年の授業にも参加してもらっています。

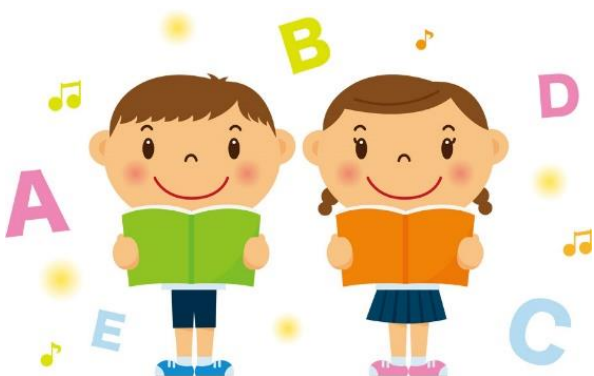
今年度、3～6年生では、文部科学省が作成した「We Can」や「Let's Try!」などの教材を使って学習を行っています。そして、来年度からは、3、4年生は「Let's Try!」を、5、6年生は、新たに採択された「CROWN Jr.」を使い、以下のような学習することになります。(< >内はキーセンテンス)

3年生 (Let's Try!◇)

- あいさつをして友だちになろう
< **Hello!** >
- ごきげんいかが? < **How are you?** >
- 数えてあそぼう < **How many?** >
- すきなものをつたえよう
< **I like blue.** >
- 何が好き? < **What do you like?** >
- アルファベットとなかよし
- カードをおくろう
< **This is for you.** >
- これなあに? < **What's this?** >
- きみはだれ? < **Who are you?** >

4年生 (Let's Try!◇)

- 世界のいろいろなことばであいさつをしよう
< **Hello, world!** >
- 好きな遊びをつたえよう
< **Let's play cards.** >
- 好きな曜日は何かな?
< **I like Mondays.** >
- 今、何時?
< **What time is it?** >
- おすすめの文房具セットをつくろう < **Do you have a pen?** >
- アルファベットで文字遊びをしよう
- ほしいものは何かな?
< **What do you want?** >
- お気に入りの場所をしょうかいしよう
< **This is my favorite place.** >
- ぼく・わたしの一日
< **This is my day.** >



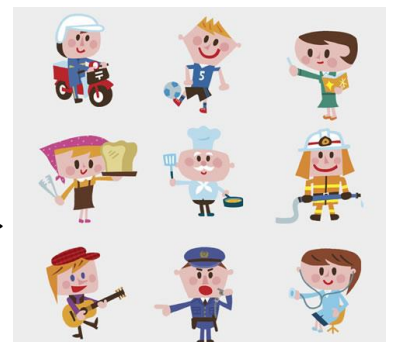
5年生 (CROWN Jr.)

- よろしくね！< **Hello!** >
- わたしのコレクション [自己紹介] < **I have many yo-yos.** >
- こんなこと、できる？ [できること・とくいなこと] < **I can jump high.** >
- 自己紹介、聞いて！< **This is me.** >
- 教えて、先生のこと< **Hello, Mr. Sano!** >
- あの人はだれ？ [友だちや家族の紹介] < **She is a cook.** >
- 一日の生活< **I get up at 7:00.** >
- 月曜日には何をする？< **I play soccer on Mondays.** >
- 知ってる？先生のこと< **He is a music teacher.** >
- 日本のこと、伝えたい< **Welcome to Japan!** >
- さがしものは、どこ？< **It is in the box.** >
- 行ってみたいところ< **I want to go to Kenya.** >
- 日本のここ、おすすめ！< **Mt. Fuji is beautiful.** >



6年生 (CROWN Jr.)

- ようこそ、わたしたちの学校へ< **Welcome to our school.** >
- わたし、あなた、わたしたち [友だちや家族] < **We are from India.** >
- こどもの日は5月にあります< **We have Children's Day in May.** >
- わたしたちの学校 [学校紹介] < **This is our school.** >
- こんな思い出、あるよね< **My Memories** >
- 夏休みの思い出< **I went to Hawaii.** >
- 様子や特徴< **I am hungry.** >
- 春と秋を比べて< **It was green.** >
- 最高の思い出は・・・< **My best memory is . . .** >
- かなえない、わたしの夢< **My Dream** >
- なりたいものは、何？< **I want to be a vet.** >
- 今、この瞬間 [日本の文化、他国の文化] < **At This Moment** >
- 20年後のわたしはきっと・・・ [将来の夢] < **I want to be a . . .** >



Why don't you enjoy chatting with Blake-sensei?

ブレイク先生と英語でおしゃべりするという会を11月8日、22日、12月9日、13日の放課後に行いました！多くの子どもたちが参加し、校長先生が時々通訳しながら会話を進めています。日本語も交えながら、例えば、好きな日本の食べ物を聞いたり、国内で行きたい所を紹介しあったりして、楽しい時間を過ごしています。3学期にも行う予定ですので、参加して下さいね。

〈小中学生の体力テスト「残念な結果」に…〉 (FNN PRIME 2019.12.23 を参考)

12月23日、スポーツ庁からいわゆる体力テストの結果が発表された。正式には「全国体力運動能力運動習慣等調査」という。

この目的は子どもの体力状況を全国的に把握、分析して、改善を図るために行われている。対象は小学校5年生、中学2年生の約200万人で、2008年度から毎年実施されているものだが、今回の結果は非常に残念なものだった。

テストは握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、50m走の8項目の実技で行われている。

この8項目の体力合計点の平均値が小中学生の男女とも昨年度から比べて低下していた。中でも、今回、小学生の男子は過去最低を記録した。

短距離も持久走も走る運動能力が著しく低下

ほとんどの項目で昨年度より低下しているが、特に中学生男子の持久走が大きくガクンと低下していて、急落といって差し支えない。小学生も男女とも20mシャトルランで低下している。短距離を見ても、小中学生の男女ともタイムが低下している。全体を見ると、短距離も持久走も「走る運動能力が著しく低下」してしまったということだ。

運動習慣については、学校の授業以外での運動時間を見ていくと、1週間の運動時間が学校の授業以外で7時間(1日平均1時間)以上という割合が減少している。特に男子の低下幅が多くなってきている。

簡潔に言うと体育の時間以外で運動する時間や機会自体も減少していることが今回の調査で分かってきた。これが体力低下の原因の一因ともいえる。

背景に「スクリーンタイム」の長時間化

その背景にある主な理由は、「スクリーンタイム」と呼ばれるテレビやスマートフォン、ゲーム機などを視聴する時間が増加していることが挙げられる。特に小中学生の男子が長時間化している。

縦軸が体力テストの合計点、そして横軸が平日1日当たりのスマートフォンなどを見るスクリーンタイムの長さなのだが、小学生の男子で平均して5時間以上観るとい人もいます。このグラフを見ると、小学生の男子も中学生の男子も「スクリーンタイムが長くなればなるほどこの体力の合計点が減っていった」という相関関係が分かる。

